
**「お客さま本位の業務運営」に関する取組状況
(2024年度)**

「お客さま本位の業務運営」に関する取組状況

目次

1. お客さまの最善の利益の追求	P3～P5
(1) ～ (4)	
2. 利益相反の適切な管理	P6～P7
(1) ～ (3)	
3. 手数料等の明確化	P7
4. 重要な情報の分かりやすいご提供	P8～P10
(1) ～ (6)	
5. お客さまにふさわしいサービスのご提供	P10～P12
(1) ～ (10)	
6. 社員に対する適切な動機付けの枠組み等	P13
(1) ～ (4)	
7. プロダクトガバナンスに関する対応	P13
KPI	P14～P23
(1) 投資信託ラインナップ・生命保険ラインナップ / 販売上位銘柄	
(2) 投資信託の運用損益別お客さま比率	
(3) 2023年3月末～2025年3月末「預り残高上位20銘柄のコスト・リターンとリスク・リターン」	
(4) 外貨建保険の運用評価別お客さま比率	
(5) 2023年3月末～2025年3月末「外貨建一時払保険の銘柄別コスト・リターン」	

「お客さま本位の業務運営」に関する取組状況①

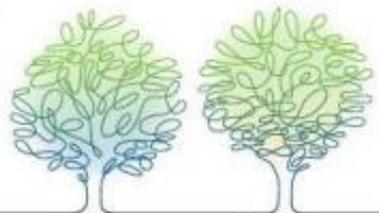
1. お客さまの最善の利益の追求

- (1) 『あってよかった、出会えてよかった、と思われる存在でありたい。』という企業理念の実現に向けて、お客さま視点に立ったサービスを追求してまいります。お客さまの人生に寄り添い、真に求められる価値と豊かな暮らしをご提供することで、お客さまや社会にとってかけがえのない存在となることを目指しております。

●企業理念

あってよかった、
出会えてよかった、
と思われる存在でありたい。

どんなに時代が変わろうとも、どんなに時が経とうとも、
お客さま視点に立ったサービスを追求するとともに、
お客さまの人生に寄り添い、
必要とされる価値と、豊かな暮らしを提供します。



〈私たちの想い〉

私たちは、何よりもお客さまのことを考える銀行でありたい。

お客さまの声に真摯に耳を傾けて、スルガならではの付加価値を提供することで、お客さまから「あってよかった、出会えてよかった。」と思われる存在を目指します。

お客さまに心から満足していただくためには、サービスを提供する社員がやりがいを感じていることが不可欠です。

お客さまからだけでなく、社員にとっても、「あってよかった、出会えてよかった。」と思われる存在になりたい、という想いを込めています。

「お客さま本位の業務運営」に関する取組状況②

- (2) 企業理念の実現に向けて、当社グループは全社員の行動規範として、『コンプライアンス憲章』を制定しております。
その中で、お客さまの声に真摯に耳を傾け、お客さまにとって最善の利益を考えた最適な商品・サービスをご提供することを宣言しております。

●コンプライアンス憲章

スルガ銀行グループは、「企業理念」の実現に向けて、社会において不可欠な存在となるよう全社員一丸となってコンプライアンス憲章を実践していくことを、ここに宣言いたします。
社会に多大な影響を与えた不祥事を教訓とし、二度と同じ過ちを起こさないようコンプライアンスを経営の最重要課題に掲げ、態勢の確立に努めてまいります。

【お客さま本位の業務運営】

お客さまの声に真摯に耳を傾け、お客さまにとって最善の利益を考えた最適な商品・サービスを提供します。
お客さまとの末永いお取引により信頼を確立し、適正な収益につなげる健全経営を実現します。

【誠実かつ公正で透明性のある企業活動】

お客さまや社会からの期待にお応えするため、法令やルールのみならず社会規範や銀行の公共性に鑑みた誠実な行動を徹底します。
問題の早期発見に努め、事実を正しく認識したうえで公正に情報開示を行ない、適切な判断に基づき対応します。

【健全な職場環境の確保】

ともに働く仲間やその家族を大切に想い、ハラスメントを排除し、すべての社員が安心して働ける環境をつくります。
立場の違いに関わらず、お互いを尊重し自由に意見を言い合える企業風土を醸成します。

【反社会的勢力との一切の関係遮断】

社会の秩序や人々の安全に脅威を与える反社会的勢力とは一切の関係を遮断し、金融インフラ機能の健全性と安全性を確保します。

【当事者意識を持った行動】

社員一人ひとりが「当社を変える」という強い信念と責任感のもと、コンプライアンス憲章をすべての行動の判断基準として、日々の業務に取り組んでまいります。

「お客さま本位の業務運営」に関する取組状況④

2. 利益相反の適切な管理

- (1) お客さまの利益が不当に害されることのないよう利益相反管理の方針に沿って、適正に業務を遂行しております。
- (2) お客さまにご提供する金融商品・サービスは、複数の生命保険会社や運用会社の商品の中からわかりやすさ、リスク、運用実績、お客さまにご負担いただく費用等を比較検討し、選定しております。
- 生命保険会社：11社、取扱商品数：27（うち外貨建一時払商品：4社、6商品）
 運用会社：25社、取扱ファンド数：182
- ※2025年3月末時点（販売中の会社数・商品数。確定拠出年金を除く）
 ※セゾン投信株式会社は、当社資本業務提携先（株式会社クレディセゾン）のグループ関係会社（資本関係先）にあたります。関係会社であることを理由に、他商品より同社の商品をお客さまに特にお勧めする等の営業行為は行っておりません。また、同社商品の募集・販売が、当社営業職員に対する業績評価上、他の商品より高く評価されることはありません。
- (3) 定期的に商品選定会議を開催し、お客さまの声や外部の評価等も参考にしながら、商品の拡充や見直しを行っております。
- 2024年度においては、投資信託で4ファンド（運用会社3社）、生命保険で8商品（生命保険会社4社）を新たにラインナップに追加しました。なお、長期保有を前提とする外貨建一時払保険では、お客さまの最善の利益を考え、いわゆるターゲット型商品は推奨しない方針とし、ラインナップの見直しを図っております。

●投資信託新規導入商品

ファンド名	運用会社	投資対象資産	NISA対象		ファンド概要
			成長投資枠	つみたて投資枠	
セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信	海外株式	対象	対象	主要投資対象は、国内外の投資信託証券。一貫した「長期投資」という投資哲学に基づいて運用されている投資信託証券への投資を通じて、長期的な資産の成長を図る。
セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信	資産複合	対象	対象	主要投資対象は、国内外の株式及び債券。インデックス型の外国投資証券への投資を通じて、世界30カ国以上の株式及び10カ国以上の債券に実質的に分散投資を行う。
日経平均高配当利回り株ファンド	三菱UFJアセットマネジメント	国内株式	対象	対象	主としてわが国の株式に投資を行う。株式への投資にあたっては、主として日経平均株価採用銘柄の中から予想配当利回りの上位30銘柄を選定し、流動性を勘案して銘柄ごとの組入比率を決定する。
あおぞら・新グローバル分散ファンド（限定追加型）2025-01	あおぞら投信	資産複合	非対象	非対象	主要投資対象は、日本を含む世界の株式（新興国の株式を含む）及び債券。株式の実質的な組入比率を計画的に段階的に引き上げることで、買付時期の分散を図る。

「お客さま本位の業務運営」に関する取組状況⑤

●生命保険新規導入商品（保障性商品含む）

保険商品	保険会社	保険種類	外貨建一時払商品
サニーガーデンEX	メットライフ生命保険株式会社	一時払終身保険	○
やさしい円ねんきん	T&Dフィナンシャル生命保険株式会社	定額年金保険	
くらしの応援ほけん（Ⅷ型）	三井住友海上あいおい生命保険株式会社	収入保障保険	
ナインガード	SOMPOひまわり生命保険株式会社	総合生活傷害保険	
ナインガードプラス	SOMPOひまわり生命保険株式会社	総合生活傷害保険	
医療保険 A セレクト	三井住友海上あいおい生命保険株式会社	医療・特定疾病保険	
医療保険 A セレクト（引受緩和型）	三井住友海上あいおい生命保険株式会社	医療・特定疾病保険	
介護保険 C セレクト（介護・認知症選択型保障保険）	三井住友海上あいおい生命保険株式会社	介護保険	

3. 手数料等の明確化

お客さまにご負担いただく手数料その他費用詳細は、投資信託においては重要情報シート（個別商品編）、目論見書及び目論見書補完書面、外貨建一時払保険においては重要情報シート（個別商品編）、商品概要書を活用し、どのようなサービスの対価であるかを含め、お客さまにご理解いただけるよう、丁寧にご説明しております。

例えば投資信託の場合、同一の商品であっても、店頭・インターネット等チャネル別に申込手数料等が異なるときは、それぞれの手数料等を重要情報シート（個別商品編）及び目論見書補完書面に明記しております。

「お客さま本位の業務運営」に関する取組状況⑥

4. 重要な情報の分かりやすいご提供

- (1) お客さまに金融商品の販売・推奨を行う前に、「重要情報シート（金融事業者編）」にて、当社の基本情報、取扱商品、商品ラインナップの考え方をご説明しております。
- (2) お客さまに金融商品の販売・推奨を行う際は、「ご意向把握アンケート」や「お客さまご確認シート」にてお客さまのご意向と推奨理由の適合性を確認したうえで、以下の重要な情報について丁寧に説明しております。

- ・投資信託の場合：重要情報シート（個別商品編）、目論見書及び目論見書補完書面等を用いてご説明します。
- ・外貨建一時払保険の場合：重要情報シート（個別商品編）及び商品概要書等を用いてご説明します。

【ご説明する重要な情報】

- ①商品等の内容（金融商品の名称・種類、運用会社、販売委託元、金融商品の目的・機能、想定する購入層、パッケージ化の有無、クーリング・オフの有無）
- ②リスクと運用実績
- ③費用
- ④換金・解約の条件
- ⑤当社の利益とお客さまの利益が反する可能性
- ⑥租税の概要

●重要情報シート（金融事業者編）

1 当社の基本情報

2 取扱商品

3 商品ラインナップの考え方

4 お問い合わせ

●投資信託 重要情報シート（個別商品編）

1 投資信託の基本情報

2 投資信託の概要

3 投資信託の概要

4 投資信託の概要

●生命保険 重要情報シート（個別商品編）

1 生命保険の基本情報

2 生命保険の概要

3 生命保険の概要

4 生命保険の概要

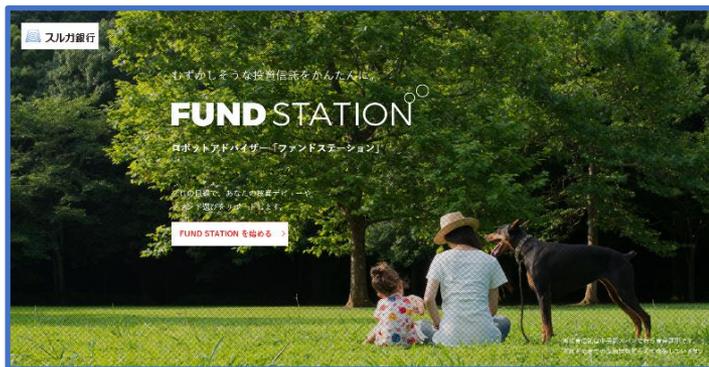
「お客さま本位の業務運営」に関する取組状況⑦

(3) 当社投資信託専用サイト「ノーロード投資信託の達人」において、市場情報、運用会社からのファンドレポート等の情報や多様な機能をご提供することで、お客さまの最適な商品選びをサポートしております。

<主なサービス内容>

- ・ お客さまが各ファンドのリスクの大きさを把握できるようにリスクメジャー（5段階）をご提示し、同一のリスクメジャーでのファンド比較ができるよう情報提供しております。
- ・ 投資対象資産を8つのカテゴリーに分類したうえで、当社が選定したファンドを「ファンドセレクション～当社が注目するファンド～」として情報提供しております。
- ・ その他、ファンド選びのアドバイスツール「FUND STATION」、つみたて・分配金等のシミュレーションツール、ファンド条件検索やお気に入りファンド登録ツール等の各種ツールもご提供しております。

●FUND STATION



●ファンドセレクション



●ノーロード投資信託の達人ページ



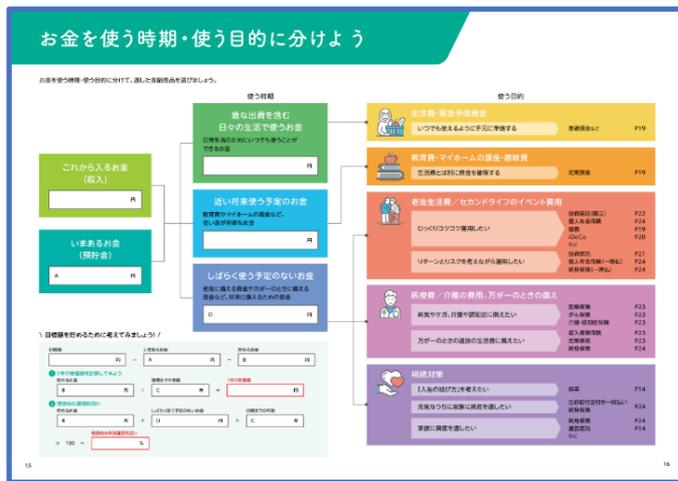
「お客さま本位の業務運営」に関する取組状況⑧

- (4) 取引経験が少ない初心者のお客さまに対しては、初心者向け資料も活用し、ご理解いただけるよう分かりやすいご説明に努めております。
- (5) 投資信託を保有しているお客さま向けに、マーケットが大きく変動した際には、当社投資信託専用サイト「ノーロード投資信託の達人」の「お知らせ」内にマーケットの下落に対する運用会社のコメントを掲載する等、速やかな情報提供に努めております。
- (6) 複数の商品・サービスをパッケージとしてご提案・販売する際には、「重要情報シート（個別商品編）」等を用いて、パッケージ化の有無や個別に購入することができるかどうかをご提示するとともに、各種手数料や商品の仕組み等の重要な情報について、お客さまにより丁寧にご説明しております。

5. お客さまにふさわしいサービスのご提供

- (1) お客さまが「お金を使う時期」と「使う目的」に応じて、お客さまに最適な商品・サービスをお選びいただけるよう、預金、生命保険、投資信託、相続関連サービス等、幅広い商品ラインナップを取り揃えております。
取扱商品は、総合パンフレット「ライフプランブック」で比較検討していただけます。

● ライフプランブック



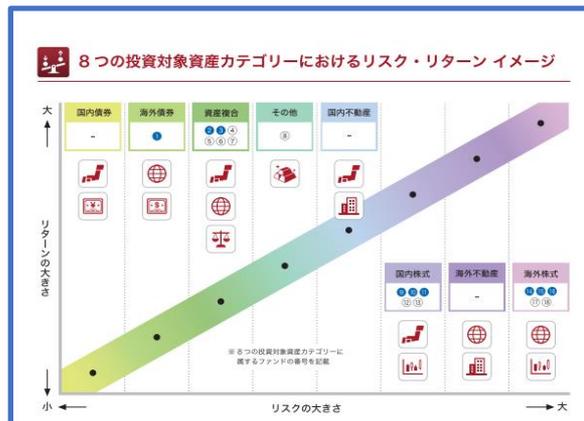
「お客さま本位の業務運営」に関する取組状況⑨

- (2) お客さまの「多くのファンドの中からどの商品を選択すればよいかわからない」という課題解決を目的として、当社が厳選した「ファンドセレクション～当社が目指すファンド～」をご用意しております。
このファンドセレクションは、NISAの対象ファンドを基本とし、投資対象資産を8つのカテゴリーに分類し、定期的にカテゴリーごとに定量及び定性の両面から総合評価して、選定しております。
- (3) 「お客さまご確認シート」や「ご意向把握アンケート」等を活用し、お客さまの年齢、取引目的・経験、知識、資産状況等を把握しつつ、総合パンフレット「ライフプランブック」や資産運用アドバイスツール「Wealth Advisor」等を利用し、お客さまのライフプラン・イベント等を踏まえたうえで、幅広いラインナップの中から個々のお客さまに適した金融商品・サービスをご提案しております。また、ご提案の際には、商品組成会社が想定する購入層に適合しているかどうかも確認しております。
なお、満70歳以上のお客さまに対しては、複数回の面談やご家族の同席をお願いする等、より適切にご理解やご判断をいただける環境をご提供したうえで、ご提案・販売を行っております。
- (4) インターネットバンキングで投資信託を購入する場合、投資目的や投資スタンス等から、適合性の原則に照らし、リスクに慎重なお客さまが、誤ってリスクの高いファンドを購入することがないように、お客さまにふさわしい商品群からご選択いただける仕組みを取り入れております。
例えば、お客さまの取引目的・ニーズが「元本の安全性重視」の場合、リスク分類が「収益性を重視」のファンドはご購入いただけません。

●ファンドセレクション

投資対象資産カテゴリー	No.	特に注目	ファンド名	運用会社	NISA投資枠		購入チャネル	
					成長	つみたて	店頭	ネット
海外債券	①	★	たわらノーロード 先進国債券	アセットマネジメントOne	○	-	○	○
	②	★	セゾングローバルバランスファンド	セゾン投資	○	○	○	○
	③	★	<購入・換金手数料なし> ニッセイインデックス(バランスファンド(4資産内等型))	ニッセイアセットマネジメント	○	○	○	○
	④	★	D C ニッセイワールドセレクトファンド(債券重視型)	ニッセイアセットマネジメント	○	○	-	○
資産割合	⑤		たわらノーロード バランス(4資産内等型)	アセットマネジメントOne	○	○	-	○
	⑥		D C ニッセイワールドセレクトファンド(株式重視型)	ニッセイアセットマネジメント	○	○	-	○
	⑦		野村6資産均衡バランス ※積立設定のみ	野村アセットマネジメント	○	○	-	○
	⑧		三井UFJ 純金ファンド	三井UFJアセットマネジメント	○	-	-	○
国内株式	⑨	★	コモンス30ファンド	コモンス投資	○	○	○	○
	⑩	★	たわらノーロード 日経225	アセットマネジメントOne	○	○	○	○
	⑪	★	年金積立 J グロース	日興アセットマネジメント	○	○	○	○
	⑫	★	三井住友D C つみたて N I S A ・日本株インデックスファンド	三井住友D S アセットマネジメント	○	○	-	○
海外株式	⑬		日経平均高配当利回り株ファンド	三井UFJアセットマネジメント	○	○	-	○
	⑭	★	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投資	○	○	○	○
	⑮	★	たわらノーロード 先進国株式	アセットマネジメントOne	○	○	○	○
	⑯	★	Free S&P500インデックス	大和アセットマネジメント	○	○	○	○
	⑰		楽天・全世界株式インデックス・ファンド	楽天投資信託	○	○	-	○
	⑱		インベスコ 世界厳選株式オープン<為替ヘッジなし>(年1回決算型)	インベスコアセット・マネジメント	○	-	-	○

●リスクリターンイメージ



●Wealth Advisor

「お客さま本位の業務運営」に関する取組状況⑩

- (5) お客さまに寄り添い、長期的なリレーションを図るため、資産コンサルティング活動に特化したFA（ファイナンシャルアドバイザー）及びFAC（FAカウンター）を静岡・神奈川エリアの店舗に配置しております。
- (6) FA及びFACの高度かつ専門的な知識向上・維持を目的に、定期的な社内・社外研修を実施しております。
- (7) 金融商品・サービスのご購入後も、お客さまに対して、一定のルールのもと、フォローアップに取り組んでおります。
例えば、投資信託、外貨建一時払保険をご購入いただいた満70歳以上のお客さまを対象として、定期的なフォローアップをルール化しております。
- (8) お客さまの金融リテラシー向上を支援するため、ライフプラン設計や金融商品等のセミナーを開催しております。
例えば、2024年度には、商業施設やWebにてNISAの活用方法や資産運用に関するセミナーを複数回開催いたしました。
- (9) 当社の取扱商品におけるお客さまの声や販売状況等について、運用会社や生命保険会社と適宜情報共有を行っております。
また、商品選定・改定の際には、商品コンセプト・特徴、想定する購入層、お客さまニーズ、運用方針等の把握に努めております。
- (10) 当社では、複数の金融商品・サービスをパッケージ化した商品を導入する場合、パッケージ化することの合理性、手数料等のコスト、商品内容の透明性等をお客さまの立場に立って検討しております。
また、複数の金融商品・サービスをパッケージとしてお客さまにご提案する際には、各種手数料や商品の仕組み等をご理解いただくために、より丁寧な情報提供に努めるとともに、商品組成会社が想定する購入層への適合性も確認しております。

●資産活用セミナーに関するパンフレット

(2024年4月開催)

スルガ銀行 セゾンマネースクール
共同開催

セゾンマネースクール
初心者向け!わかりやすく解説する
**資産活用
セミナー**

2024年4月20日(土)14時~16時
参加費 無料
先着20名様 事前予約制
※先着20名様に限り、先着順で参加いただけます。お申し込みの順番が大切です。お申し込みください。

内容
● 資産形成のポイント(長期投資・分散投資)
● 必要に応じて必要な資産を知る
● NISAの仕組み
● 将来のリスクに備える

講師
スルガ銀行 資産コンサルティング部長 藤原 高樹 (たかき かつゆき)
※本セミナーはスルガ銀行の資産コンサルティング部門が主催です。
※本セミナーはスルガ銀行の資産コンサルティング部門が主催です。お申し込みの順番が大切です。お申し込みください。

スルガ銀行株式会社 登録投資信託 実施期間 2024年4月 加入国 日本国開催
スルガ銀行 資産コンサルティングデスク ☎ 0120-86-1449

SULLIKA 資産コンサルティングデスク

SULLIKA 資産コンサルティングデスク

「お客さま本位の業務運営」に関する取組状況⑪

6. 社員に対する適切な動機付けの枠組み等

- (1) 資格試験、業務検定、通信講座において、重点取得項目と取得推奨項目を設定し、階層別に必要な内容を明確にすることで、銀行業務に精通した社員の育成を目指しております。特に、AFP/FP2級はアシスタントマネージャー階層までの重点取得項目としております。
- (2) 営業指標（生命保険・投資信託等）に係る定量的評価は、特定の商品・サービスの営業成果によるものではなく、お客さまへの総合提案を目指し、幅広い商品・サービスへの貢献を評価する「バスケット方式」を採用しております。なお、社員の業績評価は、お客さま本位の業務運営・業務プロセス改善・知識スキル向上への取組み等の評価も含めて総合的に評価する体系としております。
- (3) お客さま本位の業務運営の定着を図るため、お客さま本位の業務運営に関する社員専用サイトを構築し、全社員が当社取組方針や取組状況に容易にアクセスし、確認できる環境を整備しております。また、全社員を対象とする定期的な研修を実施しております。
- (4) 社員が行った投資性商品の販売プロセスが、募集ルールを遵守したものとなっていたか検証するため、所属長等が3か月に1回以上自店検査を実施し、管理しております。
また、資産コンサルティング業務の所管部署において、投資性商品の販売・勧誘フローが適切に運用されているか、取引が所定のプロセスに則って行われたか、さらには適合性や合理性の観点から不適切な取引はないか等について、月次でモニタリングを実施しております。

7. プロダクトガバナンスに関する対応

当社は、金融商品の組成そのものに携わっておりません。

(1) 自主KPI 投資信託ラインナップ/販売上位銘柄

○投資信託の商品ラインナップ

(2025年3月末時点)

○投資信託の販売額上位10銘柄

(2024年4月1日～2025年3月31日)

	商品数	割合	ノーロード 取扱い	つみたて NISA 取扱い
債券	44	24%	44	0
国内	7	4%	7	0
海外 (内外含む)	37	20%	37	0
株式	79	44%	79	26
国内	32	18%	32	12
海外 (内外含む)	47	26%	47	14
REIT	19	10%	19	0
国内	6	3%	6	0
海外 (内外含む)	13	7%	13	0
資産複合型 他	40	22%	40	12
合計	182		182	38

※ノーロードはインターネットバンキングでの取引に限ります。

順位	ファンド名	運用会社	主な 投資対象
1	インベスコ 世界厳選株式オープン (ヘッジなし)	インベスコ・アセット・マネジメント	海外株式 (内外含む)
2	野村インデックスファンド・日経225	野村アセットマネジメント	国内株式
3	ストックインデックスファンド225	大和アセットマネジメント	国内株式
4	日経225ノーロードオープン	アセットマネジメントOne	国内株式
5	iFree S&P500 インデックス	大和アセットマネジメント	海外株式 (内外含む)
6	ニッセイグローバル好配当株式プラス	ニッセイアセットマネジメント	海外株式 (内外含む)
7	インデックスファンド225	日興アセットマネジメント	国内株式
8	フィデリティ・USリート・ファンドB (為替ヘッジなし)	フィデリティ投信	海外REIT
9	次世代米国代表株ファンド	三菱UFJアセットマネジメント	海外株式 (内外含む)
10	たわらノーロード先進国株式	アセットマネジメントOne	海外株式 (内外含む)

(1) 自主KPI 生命保険ラインナップ°/販売上位銘柄

○生命保険の商品ラインナップ°

(2025年3月末)

保険種類		商品数
資産性	一時払終身保険	6
	定額年金保険	3
	平準払個人年金保険	2
保障性	定期保険	3
	終身保険	3
	疾病医療保険	10
合計		27

○生命保険の販売額上位

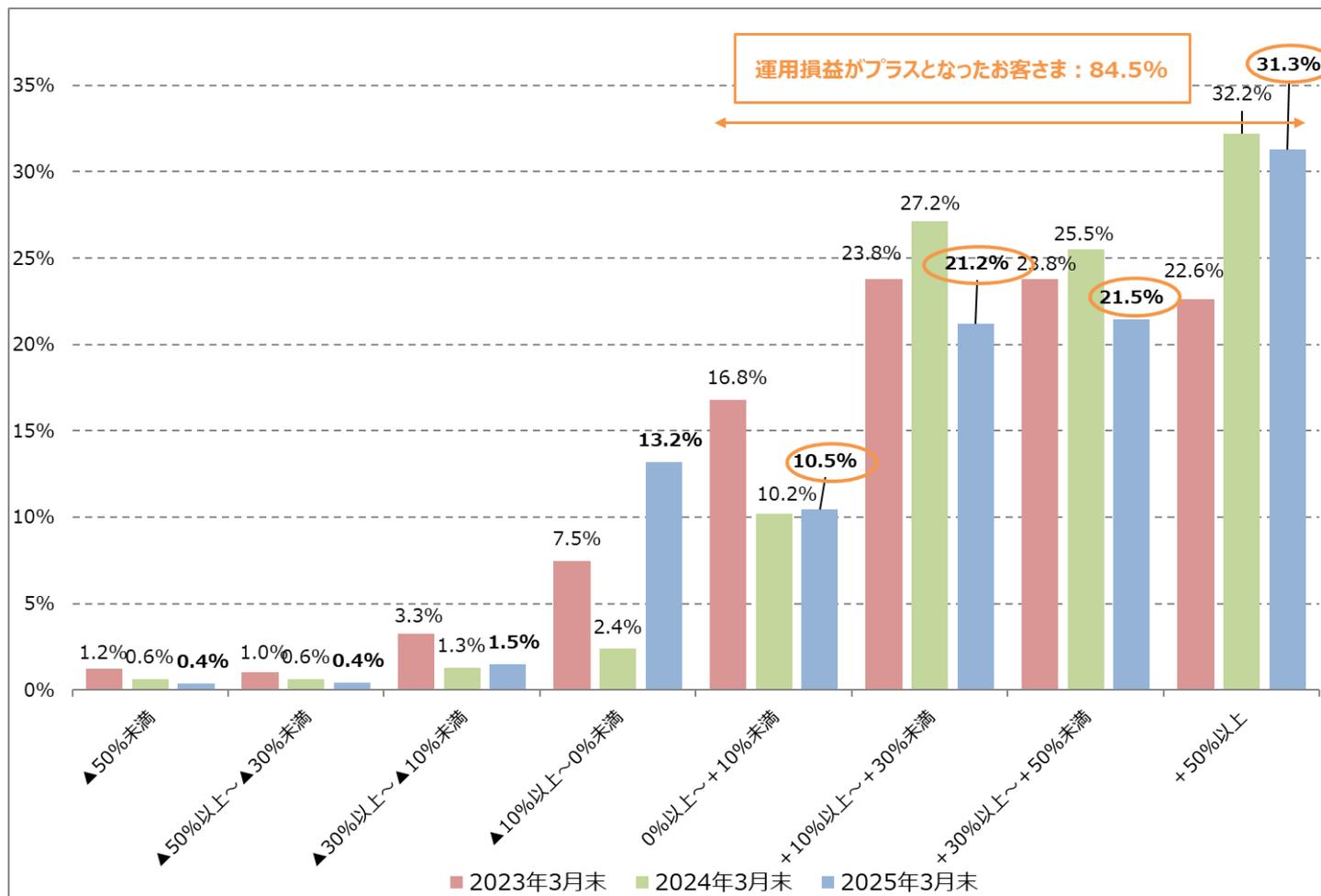
(2024年4月1日～2025年3月31日まで)

順位	商品名	保険会社	保険種類
1	やさしい円ねんきん やさしい円ねんきん 2	T&Dフィナンシャル生命保険	定額年金保険
2	プレミアカレンシー3	第一フロンティア生命保険	定額年金保険
3	プレミアプレゼント3 プレミアプレゼント4	第一フロンティア生命保険	一時払終身保険
4	生涯プレミアムジャパン5	T&Dフィナンシャル生命保険	一時払終身保険
5	やさしさ、つなぐ2	三井住友海上プライマリー生命保険	一時払終身保険
6	プレミアジャーニー	第一フロンティア生命保険	定額年金保険
7	生涯プレミアムワールド5	T&Dフィナンシャル生命保険	一時払終身保険
8	サニーガーデンEX	メットライフ生命保険	一時払終身保険
9	エブリバディⅡ	明治安田生命保険	一時払終身保険
10	エブリバディプラス	明治安田生命保険	一時払終身保険

※資産性保険商品の販売額上位商品

(2) 共通KPI 投資信託の運用損益別お客さま比率

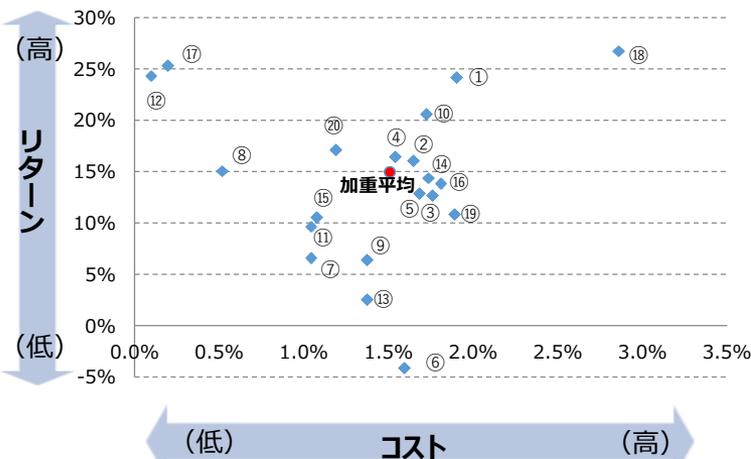
2023年3月末時点における運用損益率がプラスとなったお客さまの比率は、87.0%となっております。
 2024年3月末時点における運用損益率がプラスとなったお客さまの比率は、95.1%となっております。
 2025年3月末時点における運用損益率がプラスとなったお客さまの比率は、84.5%となっております。



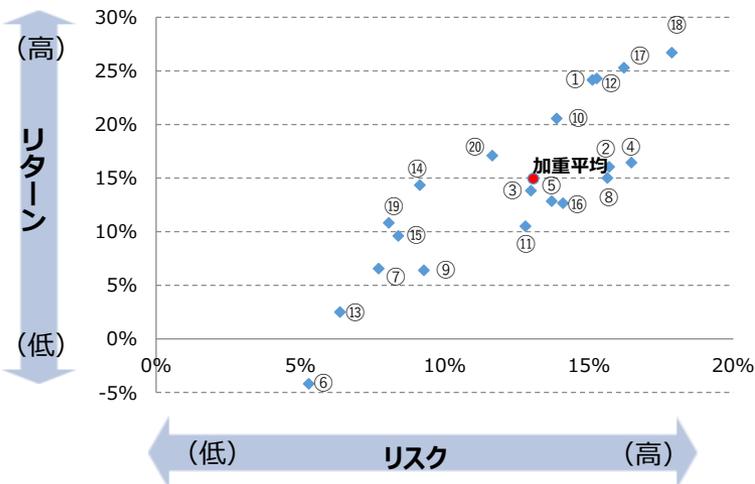
(3) 共通KPI 2025年3月末「預り残高上位20銘柄のコスト・リターンとリスク・リターン」

2025年3月末

預り残高上位20銘柄のコスト・リターン (2025年3月末)



預り残高上位20銘柄のリスク・リターン (2025年3月末)



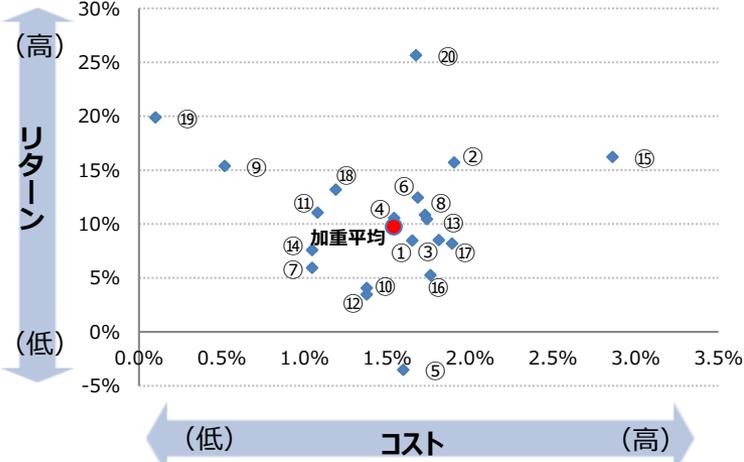
順位	ファンド名	コスト	リスク	リターン
①	インベスコ 世界厳選株式オープン（ヘッジなし）	1.90%	15.12%	24.15%
②	ラサール・グローバルREITファンド	1.65%	15.70%	16.04%
③	ビクテ・グローバル・インカム株式ファンド（毎月分配型）	1.81%	12.99%	13.82%
④	フィデリティ・USリート・ファンドB（為替ヘッジなし）	1.54%	16.47%	16.45%
⑤	フィデリティ・ジャパン・オープン	1.68%	13.71%	12.85%
⑥	BAMワールド・ボンド&カレンシー（毎月決算型）	1.60%	5.29%	-4.19%
⑦	財産3分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型	1.05%	7.71%	6.56%
⑧	ストックインデックスファンド225	0.52%	15.64%	15.00%
⑨	ハイグレード・オセアニア・ボンド・オープン（毎月分配型）	1.38%	9.28%	6.39%
⑩	ニッセイグローバル好配当株式プラス	1.73%	13.88%	20.56%
⑪	ひふみプラス	1.08%	12.80%	10.50%
⑫	たわらノーロード 先進国株式	0.10%	15.27%	24.29%
⑬	グローバル・ソブリン・オープン	1.38%	6.37%	2.49%
⑭	フィデリティUSハイ・イールドファンドB	1.74%	9.14%	14.34%
⑮	世界の財産3分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型	1.05%	8.39%	9.60%
⑯	アジア・オセアニア好配当成長株オープン（毎月分配型）	1.76%	14.10%	12.65%
⑰	iFreeS&P500 インデックス	0.20%	16.21%	25.29%
⑱	HSBCインドオープン	2.86%	17.87%	26.70%
⑲	マイストーリー分配型（年6回）Bコース（為替ヘッジなし）	1.89%	8.06%	10.82%
⑳	フィデリティ・日本配当成長株・ファンド（分配重視型）	1.19%	11.65%	17.09%
残高加重平均値		1.51%	13.07%	14.95%

※設定後5年が経過したファンドのうち、2025年3月末時点の預り残高上位20銘柄

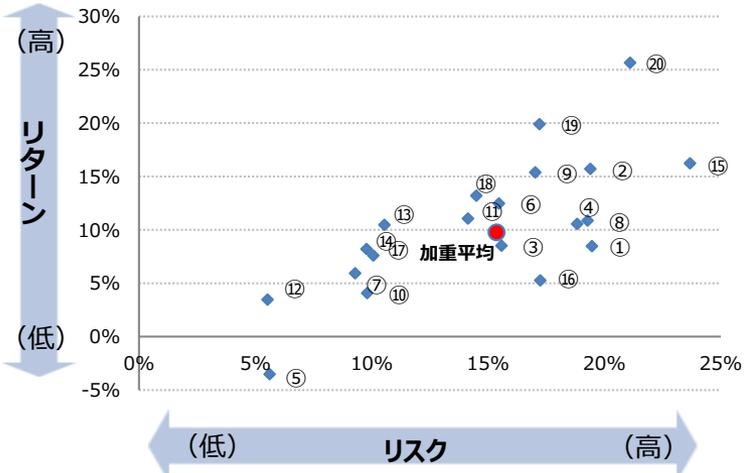
(3) 共通KPI 2024年3月末「預り残高上位20銘柄のコスト・リターンとリスク・リターン」

2024年3月末

預り残高上位20銘柄のコスト・リターン (2024年3月末)



預り残高上位20銘柄のリスク・リターン (2024年3月末)



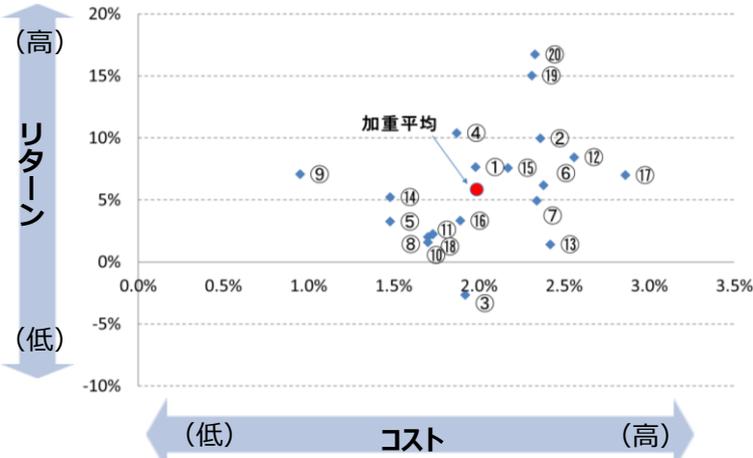
順位	ファンド名	コスト	リスク	リターン
①	ラサール・グローバルREITファンド	1.65%	19.46%	8.47%
②	インベスコ世界厳選株式オープン (ヘッジなし)	1.90%	19.39%	15.71%
③	ビクテ・グローバル・インカム株式ファンド (毎月分配型)	1.81%	15.57%	8.52%
④	フィデリティ・USリート・ファンドB (為替ヘッジなし)	1.54%	18.82%	10.56%
⑤	BAMワールド・ボンド&カレンシー (毎月決算型)	1.60%	5.61%	-3.52%
⑥	フィデリティ・ジャパン・オープン	1.68%	15.46%	12.47%
⑦	財産3分法ファンド (不動産・債券・株式) 毎月分配型	1.05%	9.28%	5.94%
⑧	ニッセイグローバル好配当株式プラス	1.73%	19.27%	10.86%
⑨	ストックインデックスファンド225	0.52%	17.02%	15.39%
⑩	ハイグレード・オセアニア・ボンド・オープン (毎月分配型)	1.38%	9.80%	4.08%
⑪	ひふみプラス	1.08%	14.13%	11.06%
⑫	グローバル・ソブリン・オープン	1.38%	5.52%	3.47%
⑬	フィデリティUSハイ・イールドファンドB	1.74%	10.54%	10.46%
⑭	世界の財産3分法 (不動産・債券・株式) 毎月分配型	1.05%	10.06%	7.59%
⑮	HSBCインドオープン	2.86%	23.67%	16.23%
⑯	アジア・オセアニア好配当成長株オープン (毎月分配型)	1.76%	17.24%	5.26%
⑰	マイストーリー分配型 (年6回) Bコース (為替ヘッジなし)	1.89%	9.77%	8.20%
⑱	フィデリティ・日本配当成長株・ファンド (分配重視型)	1.19%	14.49%	13.20%
⑲	たわらノーロード 先進国株式	0.10%	17.20%	19.90%
⑳	三菱UFJ NASDAQオープン Bコース	1.67%	21.10%	25.66%
残高加重平均値		1.54%	15.36%	9.76%

※設定後5年が経過したファンドのうち、2024年3月末時点の預り残高上位20銘柄

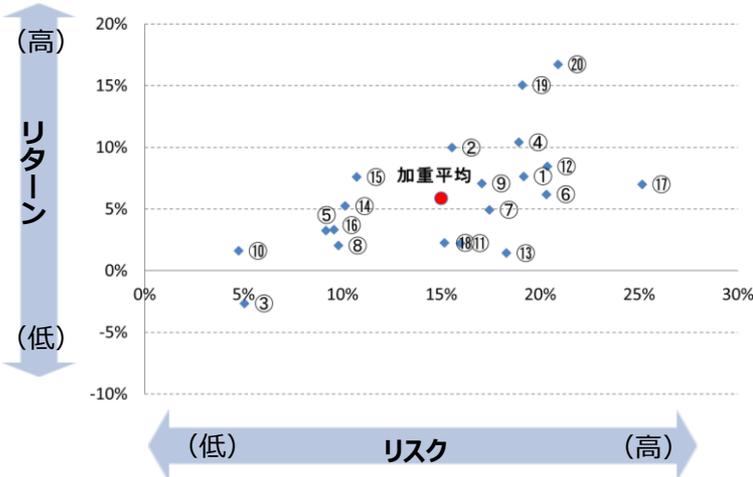
(3) 共通KPI 2023年3月末「預り残高上位20銘柄のコスト・リターンとリスク・リターン」

2023年3月末

預り残高上位20銘柄のコスト・リターン(2023年3月末)



預り残高上位20銘柄のリスク・リターン(2023年3月末)



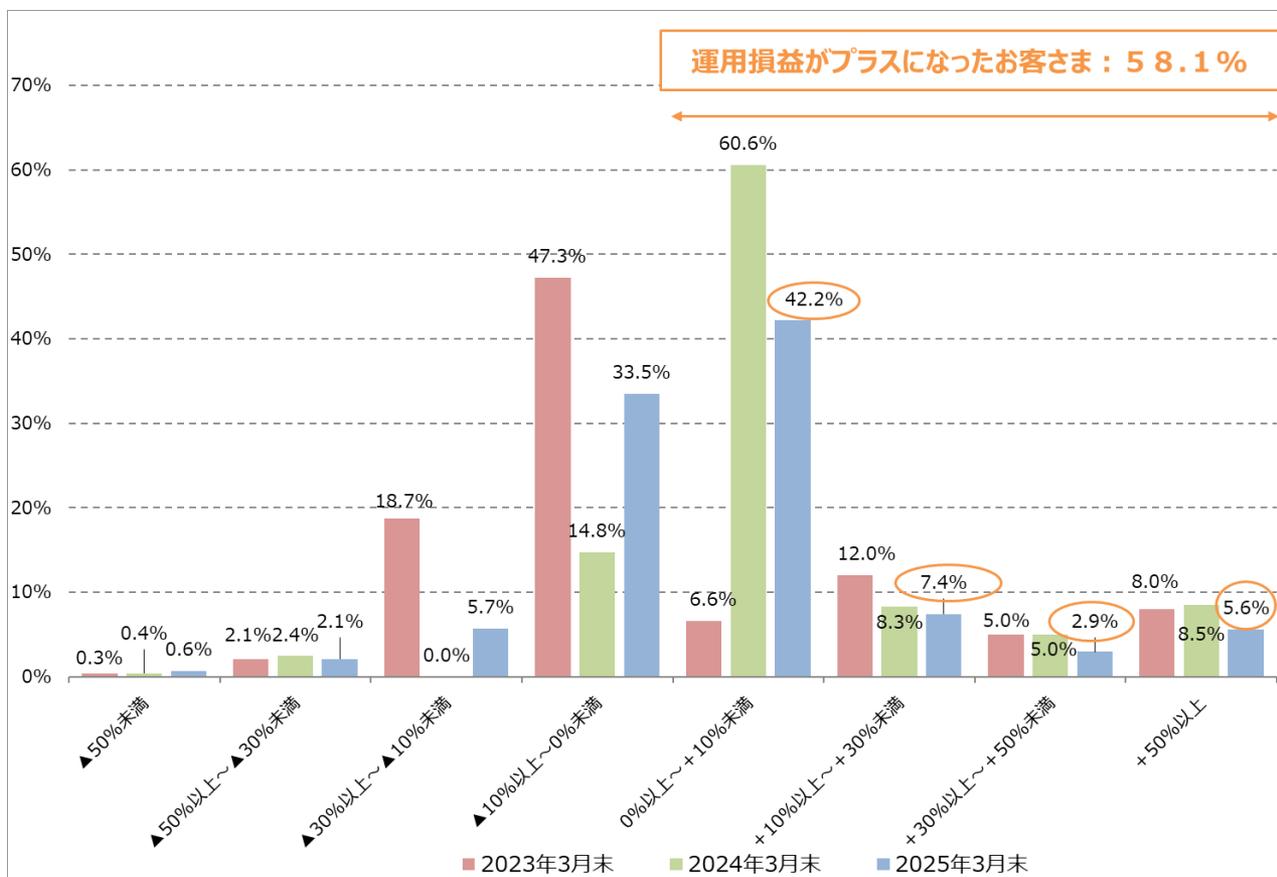
順位	ファンド名	コスト	リスク	リターン
①	ラサール・グローバルREITファンド	1.98%	19.16%	7.65%
②	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド（毎月分配型）	2.36%	15.54%	9.97%
③	BAMワールド・ボンド&カレンシー（毎月決算型）	1.92%	5.04%	-2.66%
④	フィデリティ・USリート・ファンドB（為替ヘッジなし）	1.87%	18.92%	10.40%
⑤	財産3分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型	1.48%	9.16%	3.25%
⑥	ニッセイグローバル好配当株式プラス	2.38%	20.32%	6.19%
⑦	フィデリティ・ジャパン・オープン	2.34%	17.44%	4.93%
⑧	ハイグレード・オセアニア・ボンド・オープン（毎月分配型）	1.70%	9.79%	2.03%
⑨	ストックインデックスファンド225	0.95%	17.05%	7.07%
⑩	グローバル・ソブリン・オープン	1.70%	4.75%	1.60%
⑪	ひふみプラス	1.73%	15.97%	2.23%
⑫	インベスコ世界厳選株式オープン（ヘッジなし）	2.56%	20.35%	8.45%
⑬	アジア・オセアニア好配当成長株オープン（毎月分配型）	2.42%	18.29%	1.42%
⑭	世界の財産3分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型	1.48%	10.14%	5.23%
⑮	フィデリティUSハイ・イールドファンドB	2.17%	10.72%	7.59%
⑯	マイストーリー分配型（年6回）Bコース（為替ヘッジなし）	1.89%	9.58%	3.32%
⑰	HSBCインドオープン	2.86%	25.15%	7.00%
⑱	フィデリティ・日本配当成長株・ファンド（分配重視型）	1.73%	15.15%	2.25%
⑲	ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド（3カ月決算型）	2.31%	19.09%	15.04%
⑳	三菱UFJ NASDAQオープン Bコース	2.33%	20.89%	16.73%
残高加重平均値		1.99%	15.02%	5.82%

※設定後5年が経過したファンドのうち、2023年3月末時点の預り残高上位20銘柄

(4) 共通KPI 外貨建保険の運用評価別お客さま比率

- ▶ 外貨建保険は、保障と運用を兼ねており、満期や死亡の際には保険金が支払われます。解約時には解約返戻金が支払われますが、保険商品は長期保有を前提としており、特に、契約後の早い段階に解約した場合に受け取る解約返戻金は、一定額の解約控除等により、一時払保険料を下回る場合があります。
- ▶ 解約返戻金は基準日時点の為替レートで円貨換算しており、満期まで保有した場合や、外貨で受け取る場合の評価とは異なります。

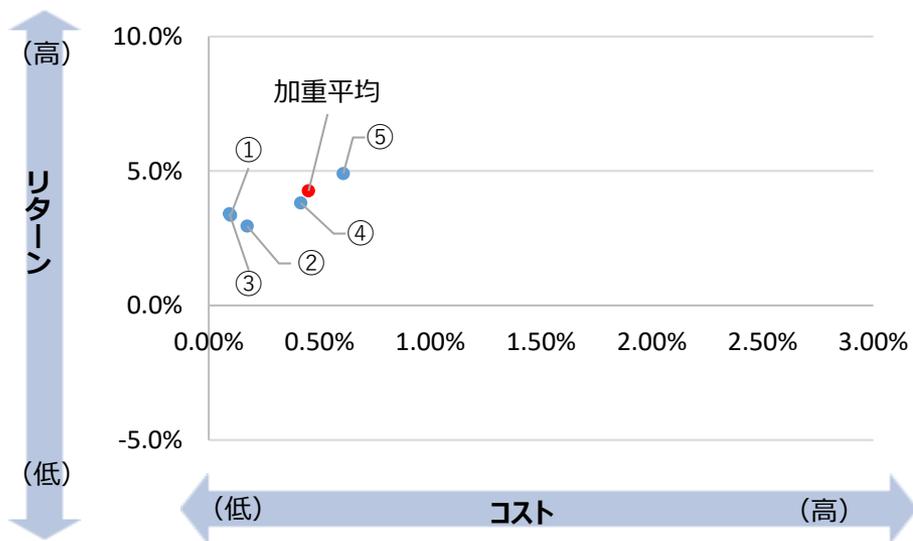
2023年3月末時点における運用損益率がプラスとなったお客さまの比率は、31.6%となっております。
 2024年3月末時点における運用損益率がプラスとなったお客さまの比率は、82.4%となっております。
 2025年3月末時点における運用損益率がプラスとなったお客さまの比率は、58.1%となっております。



(5) 共通KPI 2025年3月末「外貨建一時払保険の銘柄別コスト・リターン」

2025年3月末時点において、保険契約開始から60か月以上経過した外貨建一時払保険について、銘柄毎にコストとリターンの加重平均を算出しております。

2025年3月末



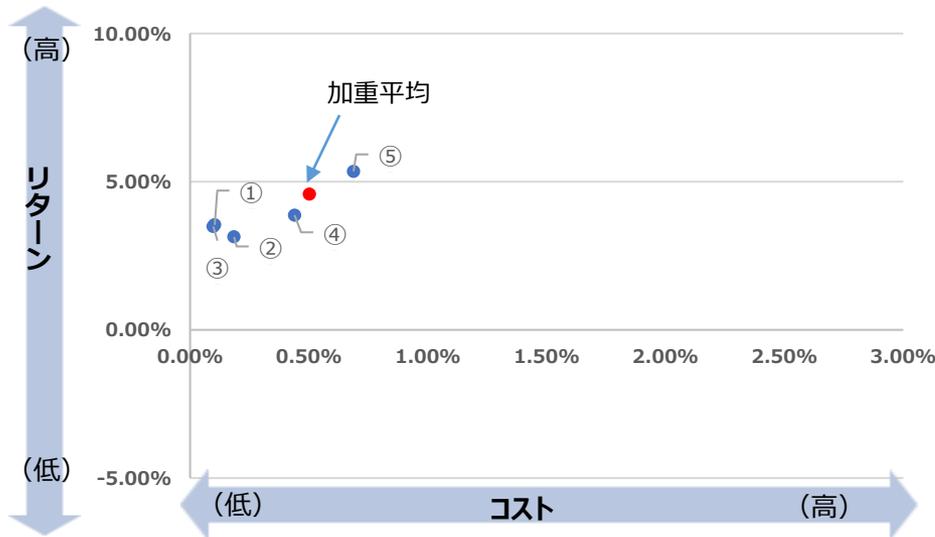
	商品名	コスト	リターン
①	シリウスデュアル	0.10%	3.35%
②	シリウスハーモニー	0.17%	2.95%
③	シリウスプラス	0.09%	3.41%
④	ビーウィズユー (USD建)	0.41%	3.82%
⑤	三大陸	0.61%	4.90%
	残高加重平均値	0.45%	4.26%

- ✓ 個別銘柄のコストは、①各契約のコスト率について、保険会社が支払う代理店手数料のうち、新契約手数料率を基準日までの契約期間で除したものと年間の継続手数料率を使用することで算出し、②各契約のコスト率を、各契約の契約時点の一時払保険料で加重平均する。
- ✓ 個別銘柄のリターンは、①各契約のリターン率について、 $(\text{基準日時点の解約返戻金額} + \text{同既支払金額}) \div (\text{契約時点の一時払保険料}) - 1$ を年率に換算し、②各契約のリターン率を、各契約の契約時点の一時払保険料で加重平均する。
- ✓ コスト及びリターンの全銘柄の加重平均値については、各銘柄の対象となる契約の基準日時点の解約返戻金額 + 同既支払金額の合計で加重平均する。

(5) 共通KPI 2024年3月末「外貨建一時払保険の銘柄別コスト・リターン」

2024年3月末時点において、保険契約開始から60か月以上経過した外貨建一時払保険について、銘柄毎にコストとリターンの加重平均を算出しております。

2024年3月末



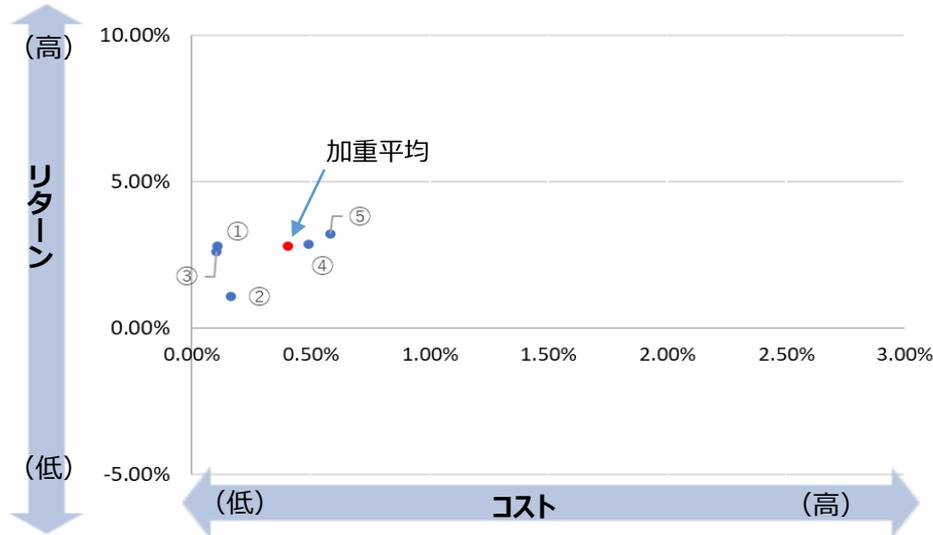
	商品名	コスト	リターン
①	シリウスデュアル	0.10%	3.54%
②	シリウスハーモニー	0.18%	3.14%
③	シリウスプラス	0.10%	3.49%
④	ビーウィズユー (USD建)	0.44%	3.87%
⑤	三大陸	0.69%	5.35%
残高加重平均値		0.50%	4.58%

- ✓ 個別銘柄のコストは、①各契約のコスト率について、保険会社が支払う代理店手数料のうち、新契約手数料率を基準日までの契約期間で除したものと年間の継続手数料率を使用することで算出し、②各契約のコスト率を、各契約の契約時点の一時払保険料で加重平均する。
- ✓ 個別銘柄のリターンは、①各契約のリターン率について、 $(\text{基準日時点の解約返戻金額} + \text{同既支払金額}) \div (\text{契約時点の一時払保険料}) - 1$ を年率に換算し、②各契約のリターン率を、各契約の契約時点の一時払保険料で加重平均する。
- ✓ コスト及びリターンの全銘柄の加重平均値については、各銘柄の対象となる契約の基準日時点の解約返戻金額 + 同既支払金額の合計で加重平均する。

(5) 共通KPI 2023年3月末「外貨建一時払保険の銘柄別コスト・リターン」

2023年3月末時点において、保険契約開始から60か月以上経過した外貨建一時払保険について、銘柄毎にコストとリターンの加重平均を算出しております。

2023年3月末



	商品名	コスト	リターン
①	シリウスデュアル	0.11%	2.78%
②	シリウスハーモニー	0.16%	1.08%
③	シリウスプラス	0.10%	2.63%
④	ビーウィズユー (USD建)	0.49%	2.86%
⑤	三大陸	0.58%	3.23%
残高加重平均値		0.41%	2.78%

- ✓ 個別銘柄のコストは、①各契約のコスト率について、保険会社が支払う代理店手数料のうち、新契約手数料率を基準日までの契約期間で除したものと年間の継続手数料率を使用することで算出し、②各契約のコスト率を、各契約の契約時点の一時払保険料で加重平均する。
- ✓ 個別銘柄のリターンは、①各契約のリターン率について、 $(\text{基準日時点の解約返戻金額} + \text{同既支払金額}) \div (\text{契約時点の一時払保険料}) - 1$ を年率に換算し、②各契約のリターン率を、各契約の契約時点の一時払保険料で加重平均する。
- ✓ コスト及びリターンの全銘柄の加重平均値については、各銘柄の対象となる契約の基準日時点の解約返戻金額 + 同既支払金額の合計で加重平均する。